

インフォディオ

ファクス等注文書を自動でデータ化 処理業務の大幅削減を可能に

アイリックコーポレーションの100%子会社であるインフォディオは9月1日、同社が独自開発した「スマートOCR」をベースにした注文書処理特化型ソリューション「注文書革命DX」をリリースした。

得意とし、既に多くの実績を持つAIOCRエンジンの「スマートOCR」をベースに、ファクスやメールで受信したPDF等の注文書を自動で取り込み、データ化するもの。ファクスのようなゆがみやノイズの多い帳票でも、高精度な文字認識を実現する。

RPAを別途で用意する必要はなく、ファクスサーバーのAPI連携、メールソフトからの添付ファイル取り出し、複合機の保存フォルダ監視など、データ取り込みのソリューションもセットで提供する。

RPAの導入に比べ、コストや導入期間とが多く、注文情報を

を大幅に削減することができる。

また、OCR導入時のテンプレート作成、自動振り分け設定など、導入準備作業の代行が初期費用に含まれており、業務への負担をかけずに運用を開始することができる。

多くの国内企業では、注文書処理業務は今でもアナログな運用が残っており、①注文書がファクスやメール添付ファイルで届くことが多く、注文情報を人が基幹システムへ入力する手間がかかる②ファクスの注文書には手書き文字が存在する上、ゆがみやノイズも多く、従来のOCR製品では読み取り精度が実用レベルに至らなかった③注文書に記載された商品明細のデータをマスタータータと照合して、チェックする業務も非常に手間がかかっていたなど、生産性向上が課題となっている。